

様式第1号（研修費、広聴費）

令和4年4月28日

蕨市議会議長 様

会派名 日本共産党蕨市議会議員団
氏 名 山脇 紀子

広聴会・研修会等（参加）実施報告書

次のとおり実施しましたので報告します。

1. 会合の名称	市民懇談会
2. 主 催 者	日本共産党蕨市議会議員団
3. 開 催 日	令和3年11月2日（火）13時30分 ～15時
4. 参加議員名	鈴木智、山脇紀子、宮下奈美
5. 内 容 （目 的）	市民から市政への要望や意見を聞く

※上記の広聴会・研修等で支出した政務活動費について、全ての領収書またはこれに準ずる書類を添付すること。また、旅行代理店等を通じて手配した旅費、宿泊費等は、その詳細（旅費、宿泊費等の内訳）も添付すること。

民主わらび

第1977号

 2021年11月14日
 日本共産党藤市委員会
 TEL 443-8332
 FAX 444-6531

生活相談はどうぞ

 鈴木 智 444-6957
 山脇 紀子 446-3129
 宮下 奈美 211-0922
 武下 涼 433-8332

2022年度予算への要望について市内団体と懇談

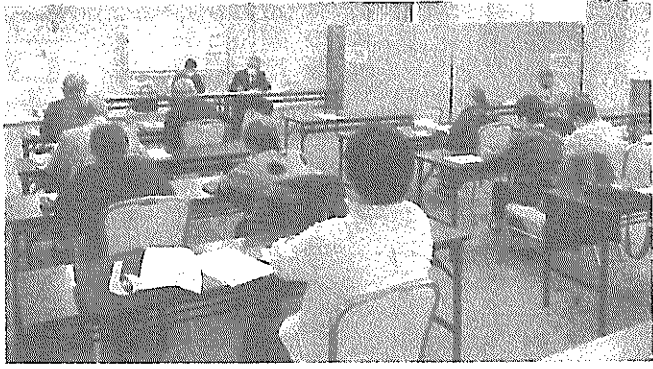
日本共産党藤市議員団

2日、日本共産党市議員団は、市内で活動する市民団体や労働組合との懇談会を開催し、新年度予算編成への要望や市政への意見を交流しました。懇談会には社会保障をよくする藤の会など10団体が出席しました。

冒頭、挨拶に立った鈴木智・市議員団長は、「コロナ

業への影響はいまだ深刻であり、第6波の恐れもある。国による社会保障削減なども懸念され、市政の役割は「一層重要」と述べ、「市民の願いを市政に生かすことが一層重要になった。ぜひ、率直な要望や意見を寄せていただきたい」と呼びかけました。

その後、出席者からは様々な意見や要望が活発に出されました。



内容としては新型コロナウイルスにかかわるものが多く、〇自営業者の状況は深刻で影響の長期化も心配。支援金の支給をしてほしい。〇介護施設の経営状況は深刻。3回目のワクチン接種はエッセンシャルワーカーと同じく早い段階での接種を。PCR検査を行政の援助でいつでもどこでも何度でも受けられるようにしてほしい。〇市外の方も市立病院でコロナワクチン接種が

できるようにしてほしい。〇生活保護を受けざるを得ない人が増えている。お知らせをきちんとしてほしい。〇ワクチン接種状況を知らせてほしい、などの発言があった。

これからも全力をあげる

元衆議院議員 梅村さえこ



梅村さえこ

衆議院選挙でご支援いただいた皆さまに心から感謝を申し上げます。北関東ブロックは前回とほぼ同じ約44万票をいただき塩川鉄也さんが当選することができました。同時に、私、梅村さえこは議席に届くことができませんでした。力不足

を心よりお詫びいたします。市民と野党の共闘で政権交代をめざしてたたかった初めての衆院選挙でした。野党が一本化した214選挙区のうち自民に競り勝った選挙区が62、惜敗しました。1万票以内まで自民を追い込んだ選挙区も32ありました。自民党の甘利幹事長(当時)も落選させました。野党共闘が力を発揮したことは間違いありません。同時に様々なご意見を皆さまから頂戴して、来年の参院選では日本共産党

りました。

また、この間も課題となっていた要望についても発言

が相次ぎ、〇高齢者への補聴器補助制度の創設を〇精神障がい者へのタクシー券の給付〇買い物難民への対策〇親が高齢になるにつれ障がい者入所施設の要望は切実になっている〇多文化共生社会へのとりくみを〇防災無線の改善〇市立病院の存続を〇児童・生徒への被爆者の話を聞く機会も設けてほしい〇住宅リフォーム助成をコロナ対応にも利用できるようになど、深刻な

実態や率直な思いとともに語られました。

その他、〇JR敷地内でのゴミ問題〇被災時の帰宅困難者への対応は〇公民館にwifiの整備を〇防災訓練での自衛隊車両の展示はやめてほしい、〇最低賃金についても要望書に明記してほしいなど、たくさん

の要望が出されました。日本共産党市議員団では、この日出された意見を検討し、予算要望に反映させるとともに、引き続き、市民や団体との懇談をすすめることにしています。

さえこ元衆議院議員は、5日朝の藤駅西口宣伝に参加し、総選挙結果について報告しました。その中で梅村氏は、自身は当選に至らなかったことを率直に伝えながらも、市民と野党の共闘が成果を上げたことを強調。引き続き、公約実現に頑張る決意を表明しました。

この宣伝には、鈴木智・宮下奈美の各市議と後援会員の方も参加。「本当にお疲れさまでした。これから頑張ってください」など、駅利用者からの激励も寄せられました。

梅村元衆議院議員が藤駅西口で報告



梅村さん(中央)、宮下(左)・鈴木(右)両市議

コロナ禍 市立病院の役割示される

病院審議会委員(市議) 宮下 奈美

市立病院運営審議会が11月5日に行われました。議題は、「2020年度決算の概要及び2021年度の状況」について。

第1回の審議会は、新型コロナウイルスの影響で約1年8ヶ月ぶりの開催となりました。病院開設者の頼高市長はあいさつで、コロナの感染者が減少してきたことを示し、市独自の感染対策について小規模企業者応援金や織りなすカード、ワクチン接種については、プロジェクトチームを立ち上げ、院長長先頭に行政検査や入院の受け入れ、発熱者への抗原定量検査に全力をあげてきたことを紹介。また、医療従事者や高齢者施設へ集団接種、医師派遣に力を尽くしてきたことを報告しました。

続いて、尽力してきた病院関係者に激励の言葉を述べ、コロナ禍で診察控えの影響が全国的に厳しい現状となっていることに対し「コロナ禍でも急性期病院として支援し安定経営に力を尽くす」、「将来構想のもと施設の老朽化、耐震化を検討委員会ですすめる」と述べました。

今審議会では、2020年度決算の収支では、損失は約3億4500万円との数字が示されました。

続いて、全委員が質問や意見を述べ、担当者からは、コロナ対策のため病床を3床増やしたことや、院内感染があつた際、検査を速やかに行つたことでスタッフの安心し協力しあつて働けたこと、また感染者増加の

波が来る度に、こういった経験から乗り越えられるスキルが身についたことが示されました。

他にも、産科・小児科の経営が厳しい一方で、産科についてはコロナ禍で、ワクチン接種を電話等で促すなど、接種する人が増えたこと、「これからもコソコソと親身な対応をしてきた」との見解が病院から述べられました。厳しい中でも市立病院が地域で安心して受けられる医療に努めていることが示されました。

防災・災害対策を学ぶ

埼玉県第一区議長会研修会に参加して

市議会議員 武下 涼

埼玉県市議会第一区議長会研修会が10月14日に開催されました。また、今回の研修会は、新型コロナウイルス感染症対策等の観点から、オンライン形式で開催されました。

「多発激化する豪雨災害と新型コロナウイルス感染症拡大の抑止策と提案」と題し、河田恵昭氏が講演しました。

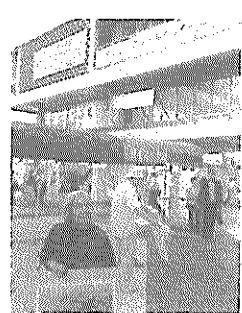
河田氏は、関西大学社会安全学部特別任命教授・社会安全研究センター長で、専門は防災・減災・縮災と述べています。また、阪神・

追悼 平和の願いをつなぐ

吉田陽子さんを偲んで

戦争遺物の語り部として平和を訴え続けてきた吉田陽子さんが、10月28日にご逝去されました。心より哀悼の意を表します。

吉田さんは、終戦間際の空襲により、わずか5歳で左腕を失うという悲劇に見舞われました。その後、戦争遺物でも参加しながら、空襲体験した壮絶な体験を小中学校など多くの人の熱意が偲ばれます。



2017年8月9日、核兵器廃絶を訴える吉田さん

私たちがもしつかりと受け止め、平和を守り、次世代へつなぐために頑張ります。2021年11月 日本共産党市議会議員団

新型コロナ・ワクチン情報

《市内の感染状況》

11月1日〜7日の感染者数は0人(累計1685人)。

《11月以降の接種体制》

市立病院 11月16・30日(火曜日) わらび北町病院

水・金・土曜日

みなと医院 土曜日(午前)

今井病院

第1・4土曜日(午前11時)

○12歳〜15歳の接種には要保護者の同伴が必要です。

○空き状況の確認・予約はコールセンター(電話:050・5577・3712)へお問い合わせください。

《ワクチンの接種状況》

(10月31日現在)

◎全体 1回目5万6616人(約81%) 2回目5万

2521人(約75%)

◎65歳以上 1回目1万6

126人(約92%) 2回目

1万5955人(約91%)